

第 1842 回例会報告

令和 6 年 9 月 26 日(木)晴



◇会長告知◇

会長 太田 淳也

皆さん、こんにちは。
朝晩もめっきり涼しくなり、ちょっと肌寒い感じもしております。でも日中は、まだまだ暑い日が続いております。皆さんも一日の気温差が激しい時期ですので、体調の方、充分に気をつけてお過ごしください。今日は、青少年奉仕委員会の担当例会です。「諏訪地区保護司会下諏訪分区分長の下諏訪町保護司を

お迎えして卓話を頂戴致します。当クラブには、36歳の若さで保護司になられ、今現在では、「全国保護司連盟の副理事長」という重責をされておられる小林聖仁さんがおられます。仏教でいう「慈悲の心」である「人に寄り添う」という保護司の仕事に使命感を持って取り組んでいらっしゃる素晴らしい方です。私が言うのも僭越ですが、36歳から今も保護司として社会に尽力される御姿に敬服致すところでございます。

人は誰でも、善の心と悪の心と両方を持っていると思います。私自身も、振り返ってみますと、小学生の時に、岡谷市の本町に住んでいて、すぐ隣りにヤマコというスーパーがあって、学校から帰って来ると、近所なのでそのスーパーへよく遊びに行っていました。ある日の夏の夕方に、そのスーパーに遊びに行ったところ、その日はいつもよりお客さんが少なく空いてました。私はふとアイス売り場のところへ行ってアイスを眺めてましたが、周りを見ると誰もいなかったの、暑さもあったので、我慢できずに1個のアイスに手を伸ばし、一口かじってしまいました。そして、そのかじったアイスをもた元元のアイスに返してしまいました。今でもその時の記憶ははっきりと覚えているのですが、とんでもない事をしてしまったという何とも言えない気持ちでした。そして何事もなかったかのようにそのスーパーを立ち去り、家に帰ってしまいました。そして夕飯の時間になり、家で母親と祖母と兄の4人で食べ始めたところ、母親が私の顔を見て、「なんかあったの？」と問いただしてきました。私の顔に何か描いてあったみたいです。その後、スーパーでの出来事を泣きながら全て母親に話しました。すぐに母親はその足で私の手を掴んでそのスーパーに向かい、お店の人に深く謝罪をしてかじったアイスを買って帰りました。私も悪い事だとはわかっていましたが、あの時、暑さと美味しそうだなという誘惑に負けて、誰も見ていないし、これくらいならいいかっていう軽い気持ちで悪い事

をしてしまいました。母親からは、こっぴどく怒られた事を今でも鮮明に覚えております。あの時、母親から「何かあったの？」と言われなければ、またそういった事をしてしまっていたかもしれません。

保護司の方々に支援して頂く方達は、おそらく犯罪を犯してしまった時に、きつとんでもない事をしてしまったという何とも言えない息苦しい気持ちを感じたのではないかとと思います。そして、しっかりと罪を償った後に、また社会にきちんと復帰していくのを見守ってくださる保護司の方々の存在はこの世の中になくはならない存在ではないかと思えます。今日はその尊いお仕事に携わっている高山様のお話を聴かせて頂きます。どうぞ宜しくお願い致します。



復帰報告する
小松孝弘会員

まだ腰が痛いとの事で、完全復帰をお待ちしています！



◇幹事報告◇ 幹事 小笠原 仁

【連絡事項】

- 11/9, 10に行われる地区大会の出欠を24日に締め切らせていただいております。出欠表を回覧いたしますので、今一度ご確認をお願い致します。
- 12月12日から15日に横浜で行われるロータリー研究会と、先立って行われる「Heal the World チャリティディナー」のご案内が、再度届いておりますので回覧いたします。元ガバナー補佐、クラブ会長、元クラブ会長、会長エレクトの皆様、参加希望の方は事務局へご連絡をお願い致します。

【受領文書】米山記念奨学会より豆辞典・2023年度決算報告・事業報告書、諏訪湖通信

【出席報告とニコボックス】

出席報告		ニコニコボックス	
		利用人数	今回の金額
会員数	31人	8人	10,000円
出席対象	30人		
出席者数	18人	前回累計	234,000円
出席率	60%	累計	244,000円
前回修正出席数	人	目標額	60万円
前回修正出席率	%	達成率	40.7%



2024-2025年度 諏訪湖ロータリー活動方針

「更なる居心地の良いクラブにしよう！」 ZOOM ID : 931 6553 5678



本日は、「諏訪地区保護司会 下諏訪分区長の高山登美子様」にお越しいただき、誠にありがとうございます。保護司の方々の存在は、現代社会になくてはならない存在だと思います。ご経験された生のお話を楽しみにしております。どうぞよろしくお願い致します。 太田 淳也
高山様 本日の卓話を楽しみにしています。 大澤 邦彦
高山さん 本日はよろしくお願い致します。 萩田 均

◇委員会報告◇

国際奉仕委員会 成山委員長



40周年記念事業
セブ島奉仕委員会からの報告

事前勉強会のお知らせ

日時 10月2日(水) 18:30~
場所 ジョイントプラザマリオ様
会費 夕食付 1500円(受付にて)

スケジュール

18:30~19:00 会食
19:00~ 勉強会
~20:00 終了予定

国際奉仕委員会 成山委員長

◇例会内容◇

青少年奉仕委員会担当例会

諏訪地区保護司会下諏訪分区長
下諏訪町保護司 高山登美子様 卓話



当クラブの会員で、全国保護司連盟副理事長の小林聖仁さんの紹介で、卓話をさせていただきました。

本日は、このような機会を頂きましてありがとうございます。私は、小林先生ほど経験がありませんが、一人の保護司として、活動についてお話させてください。

平成17年に、こちらのクラブの会員でもある河西達雄さんの後任として、保護司を拝命し、19年になります。地域への恩返しのつもりで引き受けたのが始まりです。

町屋敷に50年住んでおりますが、特有の男尊女卑の地域で、過去に女性が選ばれたことはありませんでした。長老から、「俺は、そんな神様みたいな仕事はできない」という、励ましか、ひがみのような言葉が、いまだに心に焼き付いています。地域柄、本家、新宅、まきなどのつながりが強く、監視の目が厳しいので、移住してきた人のみを担当させていただきました。日本の福祉は素晴らしく、「本人が望まないことは提供しない」が基本です。しかし、更生は、本人が望まないことをあ

えて提供しなければいけません。しかし、障害を持った人が犯罪を犯すと、どちらが優先か、問題になります。障害は気づいた時から福祉に支えられていますが、更生には福祉が何より厄介です。苦手なことも、避けていたら更生の道は開けません。

保護司は、贖罪のために、社会奉仕などを指導することが、義務付けられています。

15年前までは、3人を一度に担当することもありましたが、今は人数ではなく、下諏訪も薬物犯罪や性犯罪が発生していますので、うつの人に頑張れと言ってはダメなど、専門知識が必要となっています。

長年住んでいる地域のため、ライオンズクラブでは、薬物乱用防止委員長を務めております。ロータリーもライオンズも、目的は同じだと思います。定年まであと少し、職務を全うしたいと思っています。



五味弾さん

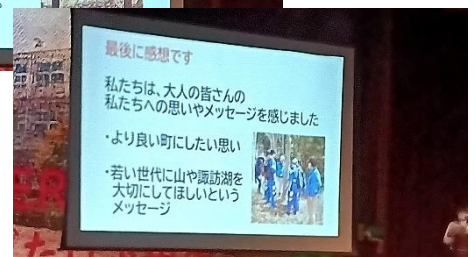
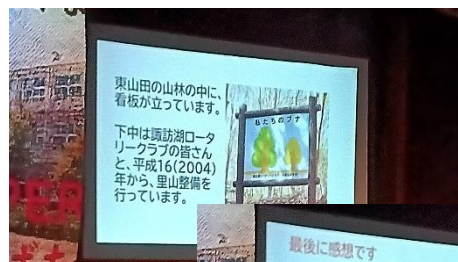
今まで保護司をやっていた、良かったと思うことは？

今まで、10人の人を見てきましたが、そのうちの一人、4年担当していた人に、結婚式に呼んでいただきました。でも、知っている方もいるし、始めは遠慮しましたが、それでもとのことで、出席いたしました。今でもLINEでつながっています。

田中久登さん

今までは、地域で協力しないと生きていけなかったが、今は家から離れた会社という中で生活しています。そういう影響を感じますか？

意外と、家庭的なところに居場所がないと、一人二人と集まって悪いことをしてしまう人が多いです。子供たちにとって、一番良い場所は、家庭だと思います。



9月27日に行われた、「下諏訪中学校学祭なぎがま祭」ステージ発表で、諏訪湖ロータリークラブのブナの森活動や、清掃活動、奉仕することの大切さについて話してくれ、保護者大人に当クラブのPRをしてくれました。

12月7日に同発表を、教育関係者事例発表会において、今一度発表するそうです。(萩田均会員より)